

多摩棕櫚亭協会の就労支援



組織図1986年

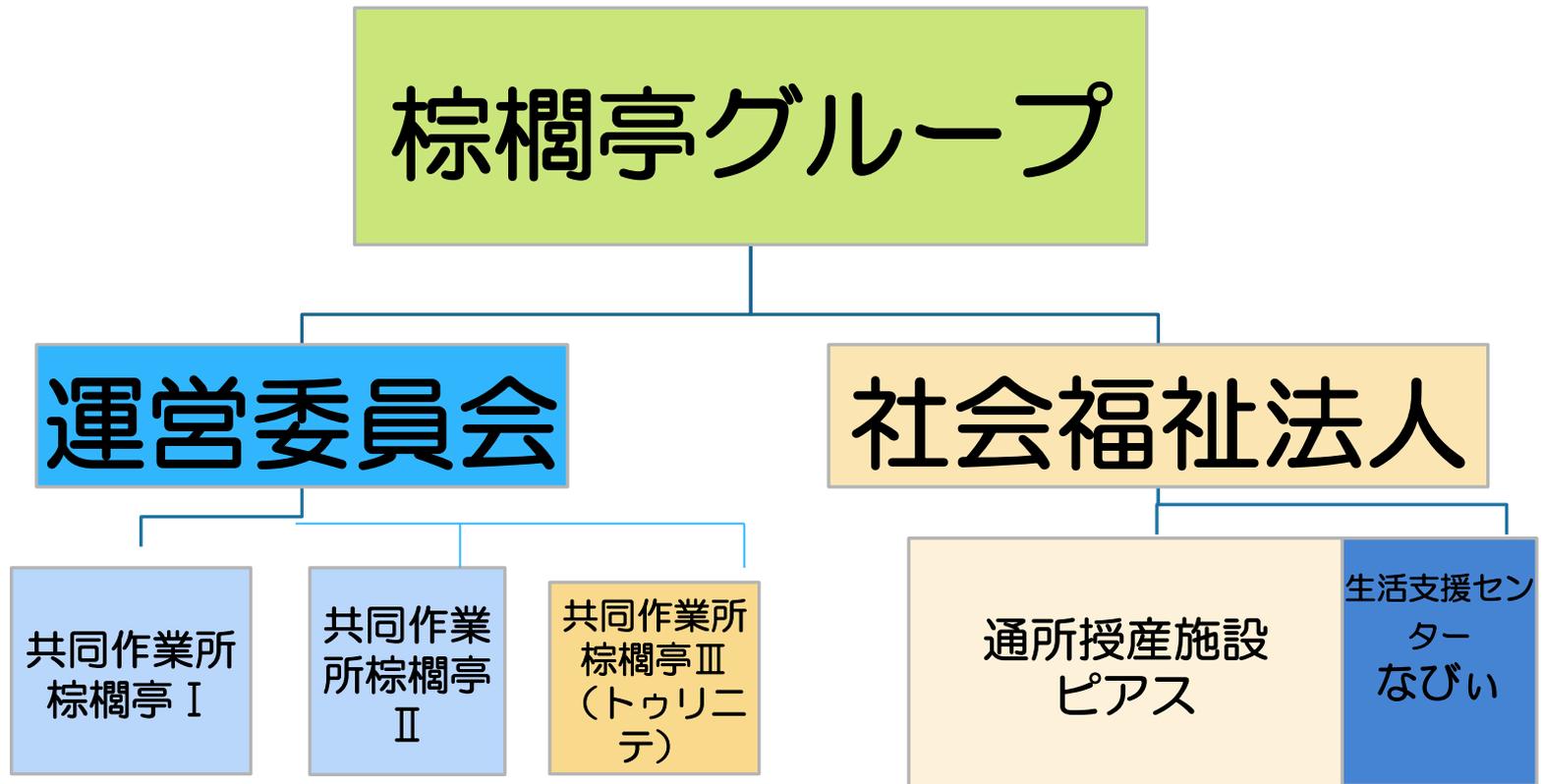
棕櫚亭運営委員会

共同作業所棕櫚亭Ⅰ

共同作業所棕櫚亭Ⅱ

共同作業所
棕櫚亭Ⅲ（トゥリニ
テ）

組織図1997年



棕櫚亭の変遷

外部状況法律等	棕櫚亭の事業	年度	内容
1988年精神保健法・GDP世界 I	共同作業所設立	1987年～ 1992年	10年に3か所の共同作業所
1991年平成不況	通所授産施設ピアス	1997年	就職に特化した事業所
1996年精神保健福祉法		1998年～ 2003年	担当制 利用期限2年 チェックリスト 就労支援担当 ジョブコーチ
1998年社会福祉基礎構造改革	棕櫚亭組織改革	2001年～ 2005年	組織改革開始 分かりやすい、選ばれる組織へ 2003年 理念作成、次世代への継承、施設長交代、 理事長交代
2002年介護保険 2005年発達障害者支援法 2006年自立支援法 精神障害者雇用率算定対象に	就業・生活支援センターオープンナー	2006年	
2008年リーマンショック	ピアス就労移行支援事業所へ	2007年	
2009年雇用促進法改正 短時間労働が雇用率0.5カウント	自立支援法移行終了	2007年～ 2010年	トリニテも就労移行。 地域活動センター I, II、 作業所閉鎖、

組織図2010年

社会福祉法人
多摩棕櫚亭協会

生活支援

地域活動支援
センターⅠ型
なびい

地域活動
支援セン
ターⅡ型
棕櫚亭Ⅰ

就労支援

就労移行支援事業所ピアス

就業・生活支援
センター
オープナー

多摩棕櫚亭協会の就労支援システム

就労移行支援事業所

ピアス・トゥリニテ

就業・生活支援センター

オープナー～

ジョブコーチ

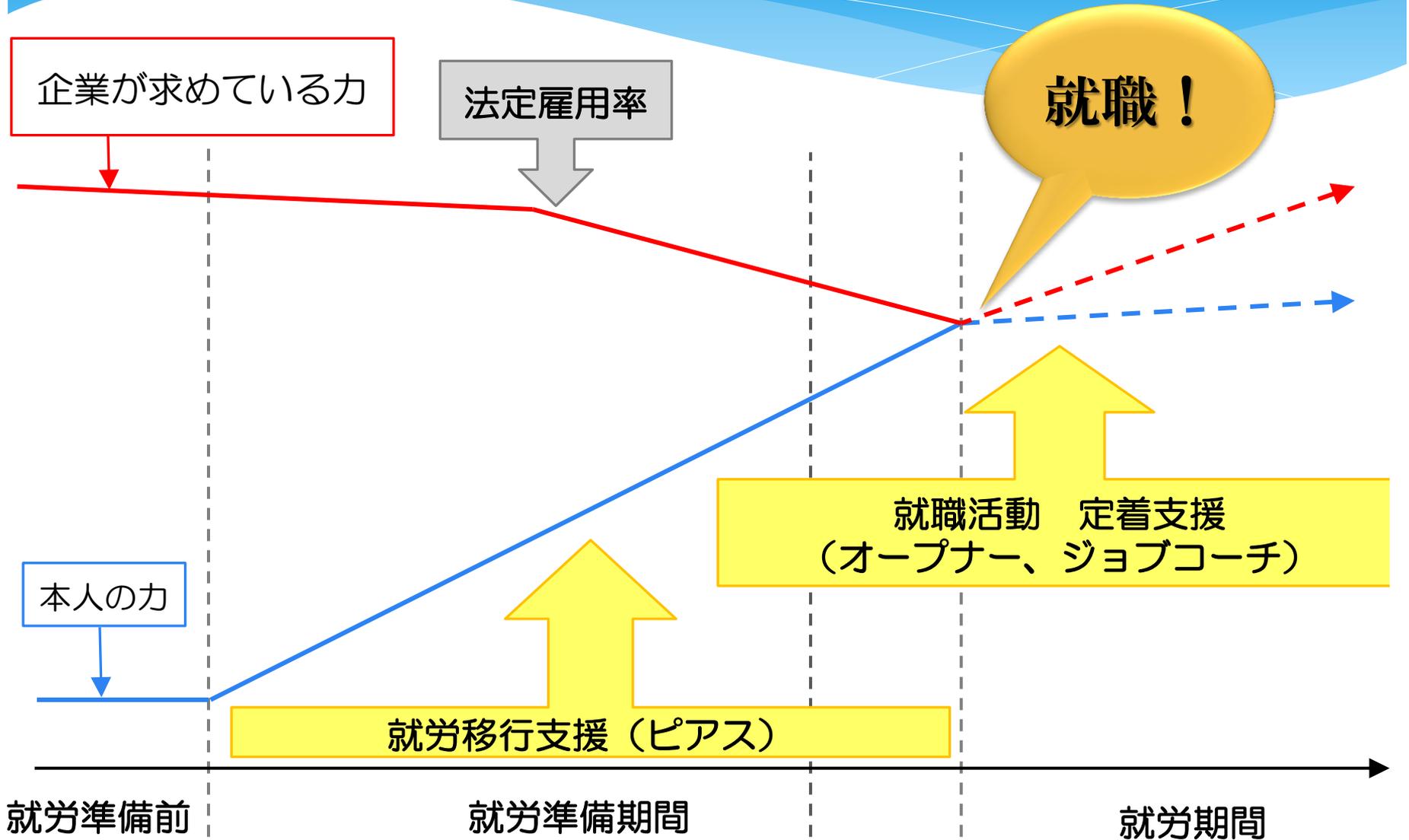
職業スキルの獲得

持続的サポート

作業と就労プログラム
チェックリストなどツールの使用
ゴールのあるトレーニング

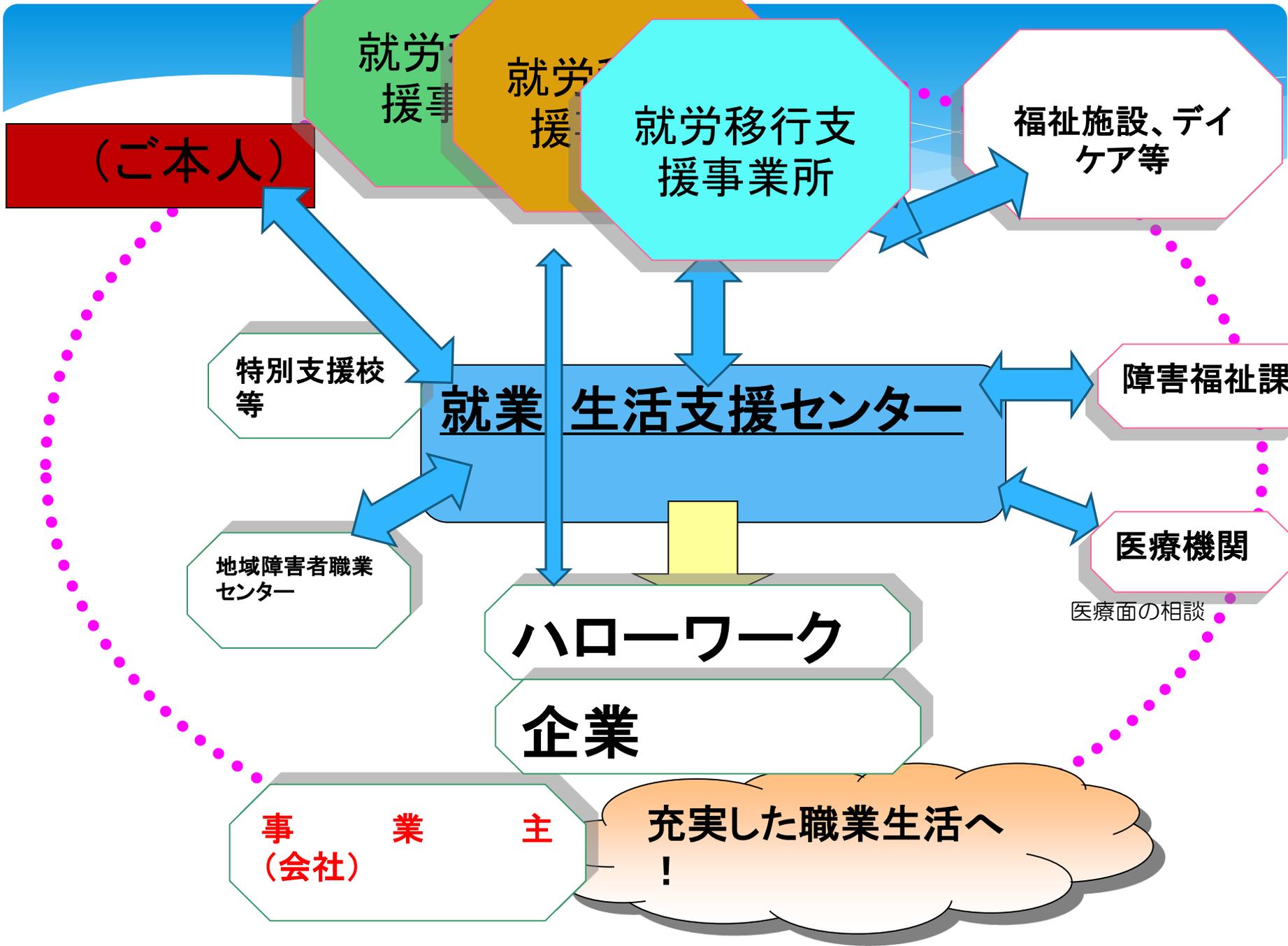
職場開拓と定着支援
広域支援
継続的な支援

最初の確認①・・・ゴールまでの位置



東京都の障害者就業・生活支援センター

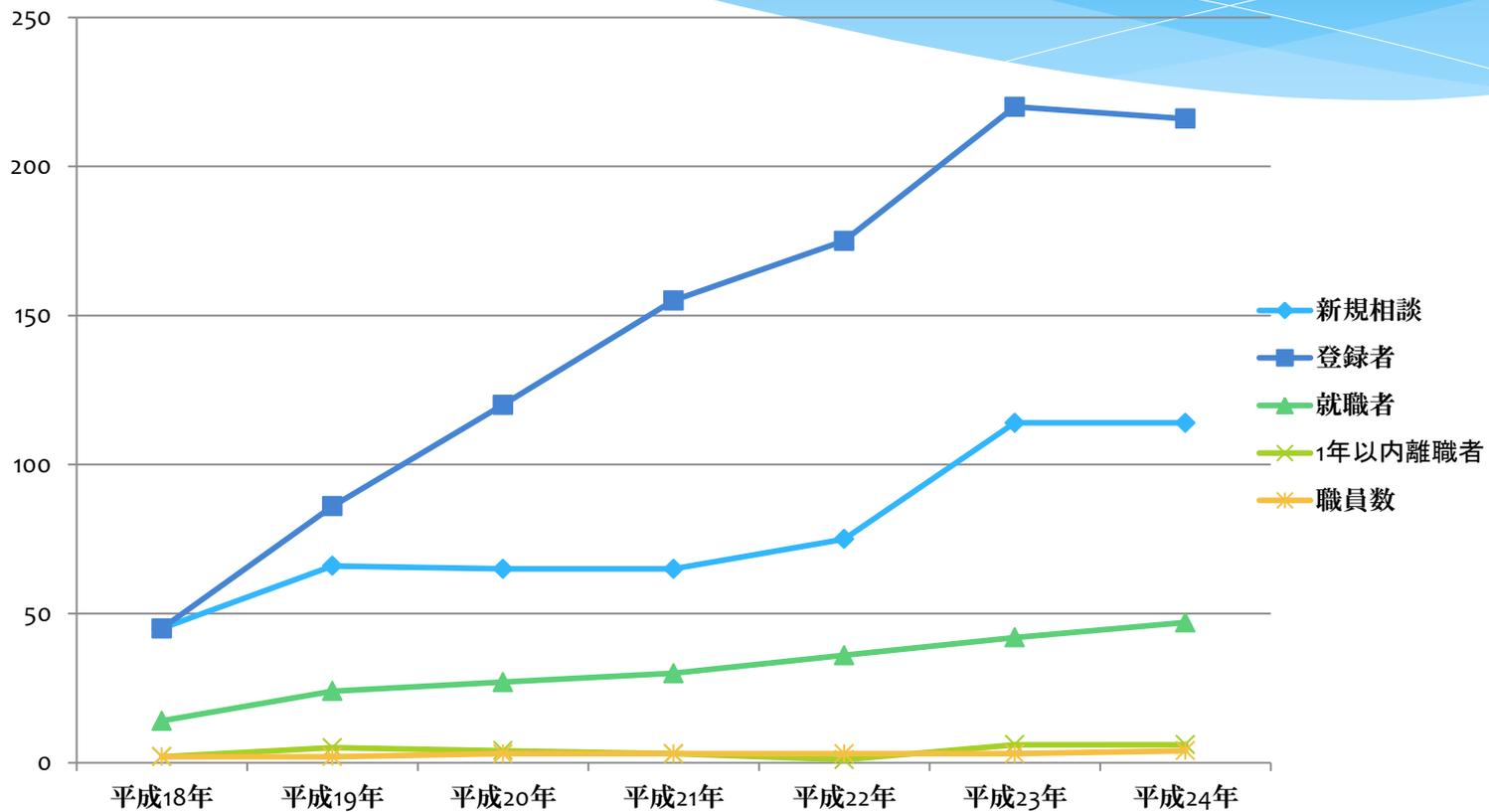




オープナー支援数推移①

外部状況	年度	職員	新規相談	登録者	就職者	1年以内の 離職者	平成24年 までの 離職者	再就職	継続者
障害者自立支援法 発達障害者支援法	平成17年								
精神保健福祉法の改正 精神障害者を雇用率に 算定	2006 平成18年	2	45	45	14	2	8	8	
	2007 平成19年	2	66	86	24	5	16	3	
リーマンショック	2008 平成20年	3	65	120	27	4	7	5	
障害者雇用促進法改正 短時間労働 0.5カウント	2009 平成21年	3	65	155	30	3	4	2	
	2010 平成22年	3	75	175	36	2	0	0	
	2011 平成23年	4	114	220	42	6	6	3	
	平成24年	4	114	217	47	5	7	1	
雇用率2%に 精神障害者雇用義務?					212	26	48	22	159

オープナーの支援数推移②

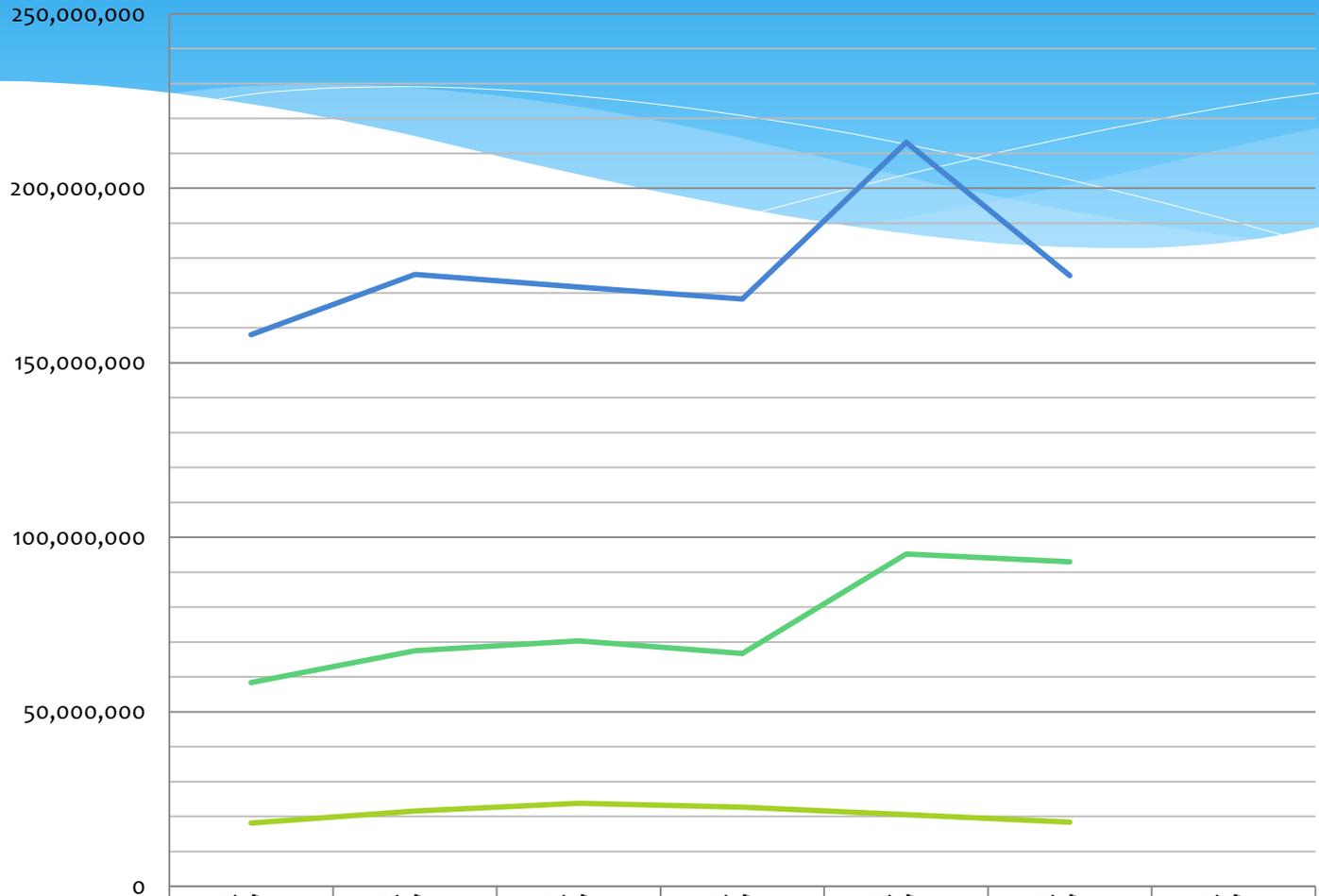


ピアス移行の経過 ①

	移行・定員の変化	トピック	課題	就職者数
2007年 (H19)	ピアス移行 (定員20名)	・新規入所半年間なし ・激変緩和利用		8名
2008年	トリニテ移行 (定員32名)	作業所棕櫚亭Ⅲトリニテ就労移行へ	通所施設からの新規入所、 ほぼ0	11名
2009年		トリニテメンバー卒業 移動先の紹介等	入所者の傾向わり始める	13名 48単位
2010年	32名定員での本格的運営開始	・就職までの利用期間2極化 ・毎月平均3名(合計30名)新規利用者受け入れる、	グループ全体で初の赤字決算	13名 126単位
2011年	28.6名/32名	・発達障害のある方向けの各種講座、個別対応 ・ひきこもりが長い方の為軽作業導入(中断者減) 年間41名の新規入所者受け入れ	・入所希望者層がさらに広がり、通所経験のない方がさらに増加。	16名 126単位 方も。
2012年	・	施設外就労の開拓 ・分場(レストラン)を実習先として利用 ・トレーニング種目の工夫(受け入れ人数増) ・発達障害の方向けのコミュニケーションプログラム(CES)開始	・さらに入所者層が広がり、どこまでが就労移行支援事業の利用対象者か、課題が出てきている。 ・利用者数の増加と支援力量の問題	22名 (~2月) 146単位

ピアス移行の経過②

軸ラベル



	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25
法人総収入	158,065,781	175,274,757	171,672,959	168,213,123	213,137,910	174,962,507	
ピアス(+トウリニテ) 福祉活動収入	58,361,997	67,476,482	70,338,971	66,734,537	95,198,882	92,932,077	
ピアス(+トウリニテ) 授産収入	18,097,953	21,564,508	23,821,083	22,665,281	20,545,165	18,405,981	

就労準備の流れ

基礎訓練期

軽作業
封筒封入
スタンプ押しなど

作業工程がシンプルで負荷の少ない作業に参加
目標は安定通所のための生活リズムの見直しなど

実践的訓練期

弁当盛付、食器
洗浄、清掃、事務補助など

外部受注作業
マンション清掃
リネン作業

就業時間の増、作業遂行面や障害面の自己理解を目的に、様々なタイプの作業に参加する

チャレンジ期

トゥリニテの実習
企業での実習

一定期間の実習で訓練の総仕上げ、自信をつける。また職場での状況をアセスメントする

平成23年度 前期就労プログラム

	月日	内容	講師
第1回	4月16日	ピアスの利用の仕方	事業所長
第2回	4月30日	チェックリストの使い方	ピアス職員
第3・4回	5月7・21日	企業見学	
第5回	6月4日	雇用されるために ~雇用主の立場から~	企業主
第6回	6月18日	病気と付き合いながら働くために	精神科医
第7回	7月2日	就職するために・働き続けるために	卒業生
第8回	7月16日	フレスターションの練習	ピアス職員
第9回	7月30日	就労支援機関の使い方	オーブナー職員
第10回	8月6日	ハローワークの使い方	ハローワーク立川
第11回	9月3日	履歴書の書き方	職業センター多摩支所
第12回	9月17日	SST(面接の練習)	ピアス職員

チェックリストとサマリー

トレーニングの節目で使う。3カ月、6カ月

トレーニング



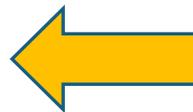
振り返り



客観的な見方を受け入れる
相手(仕事)に合わせる自分



課題・目標



気づき

選ばれる就労移行を目指して①

成果を多く出す事の意味

就職して元気に働いている人を見る事が皆の希望になる(利用者、職員だけではなく今困っている人、家族など皆がウインウインになる)

- 1、授産と就労支援のバランス・・工賃向上ではなく、本人の力量向上である事の確認。授産に振り回されない体制作り。思い切った変化も必要
- 2 対象者、紹介者の変化とニーズをいつも把握
政策も世論も経済状況も刻々変化している
- 3、就職までの分かりやすいプログラムを常に工夫
3年でシステムは壊れ5年で中身は腐る
- 4、より多くの人への効率的なサービスを考える
- 5、アメニティは大事、外からの視線を意識、福祉っぽいのは流行らない。見せ方を意識した営業力も大事

選ばれる就労移行を目指して②

- * 次世代に継承できる事業体である事を常に意識する。
10年後、20年後選ばれる主体であり続ける
- * 1、職員のモチベーション維持、向上
 - * 理念、方向性・修正も変化も恐れないが合意形成は丁寧にする
言語化し確認、了解の習慣化
 - 2、経営の安定・処遇の向上・生活者としての安定も大事、多くの職員を育てる難しさ
成功ケースを増やしたりそのプロセスで学習したり、自分が変わってきたというような仕事の提供、就労支援の醍醐味を皆が味わう
- * 3、外部とのつながりの中で自分達の位置を確認
- * 宣伝、プレゼン、交流の機会を多く持つ
- * 孤立しない法人・業界でも、地域でも、

課題

- ① 常に安定経営できるだけの通所者数を確保しながら、準備性を高めるためのトレーニングの質と量を確保する必要があるが、精神の場合2.5倍の利用者が必要になる。一定の就職者数を出した場合の利用者減への対応を考えてほしい
- ②、広汎性発達障害を中心とする、これまでにない利用者層の広がりが生まれている。手帳保持者の激増等支援が追いつかない現状をどう解決するのか
- ③就職者を多く出せば定着支援も必要になる、6ヶ月後より2年3年の危機もあり、支援の必要はエンドレスであるので、移行支援事業所に定着支援加算等を組み込む必要があるのではないか。就職後数年後の定着支援の必要性についての仕組みが考えられていなかったが事態は深刻である
- ④様々な支援技法が求められている。特性に合った就労支援の提供が必要だが、1ヶ所で全てに取り組むのは難しい、就労移行支援事業所の多様化なども考えられるのではないか？

社会福祉法人多摩棕櫚亭協会 I N F O

東京都国立市富士見台1-17-4
JR南武線谷保駅下車徒歩3分

ホームページ <http://shuro.jp>



TEL 042-577-0079
FAX 042-575-5911
Mail opener@shuro.jp
piasu@shuro.jp

ありがとうございました。